

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

4月に6年生に実施した全国学力・学習状況調査につきまして、結果と考察がまとまりましたので、お知らせいたします。

1 教科に関する調査結果について

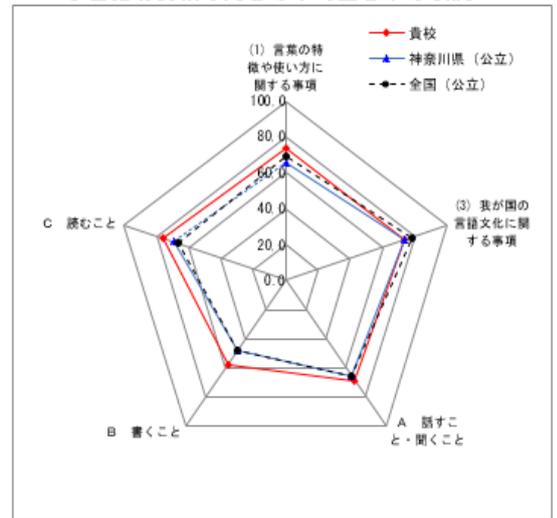
各教科の平均正答率から、全体的に県、全国の平均を上回る結果が見られました。

<国語>

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
横浜市立本郷台小学校	78	10.0 / 14	71	11.0	3.5
神奈川県 (公立)	69,948	9.1 / 14	65	10.0	3.4
全国 (公立)	965,308	9.2 / 14	65.6	10.0	3.3

登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉えること、文章全体の構成や書き表し方などに着目して文や文章を整えることについてを問う設問で、平均を大きく上回っていました。今後も情景描写や表現の工夫、文の構成などに目を向けながら学習に取り組んでいきます。漢字を正しく使う設問で平均を下回るところがありました。間違いやすい漢字や普段からの漢字の使い方や活用について、指導の改善をしていきたいと思えます。

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>

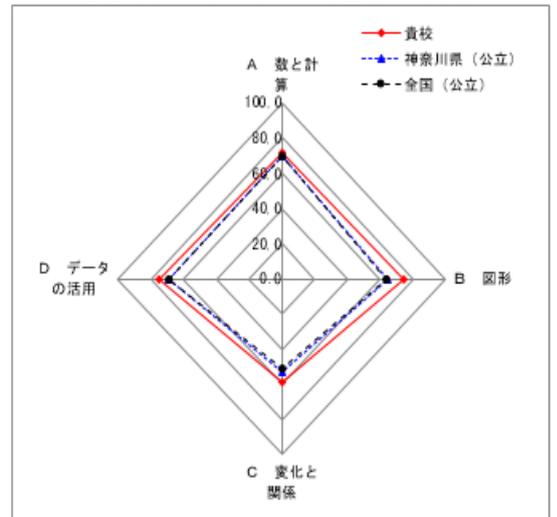


<算数>

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
横浜市立本郷台小学校	78	11.1 / 16	69	12.0	3.4
神奈川県 (公立)	69,951	10.2 / 16	64	11.0	3.7
全国 (公立)	965,431	10.1 / 16	63.2	11.0	3.6

データの活用や図形の問題で、平均を大きく上回りました。データの活用では、表の意味を理解し、目的に応じてデータの特徴を捉えることができています。図形では、図形を構成する要素に着目して、性質や構成の仕方について理解できています。一方で、数と計算については定着できていないところが見られました。桁の多い乗法の計算や、二つの数の最小公倍数を求めること、割合の変化などについては、繰り返し練習したり、小さい数に置き換えて計算したりして、基礎的な知識・技能が定着できるように授業を展開していきたいと考えます。

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>

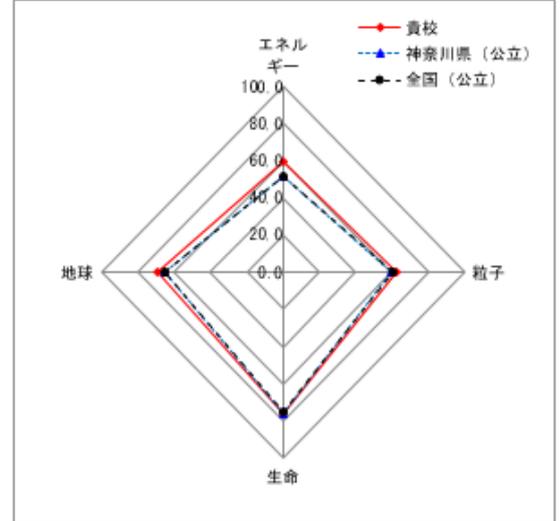


<理科>

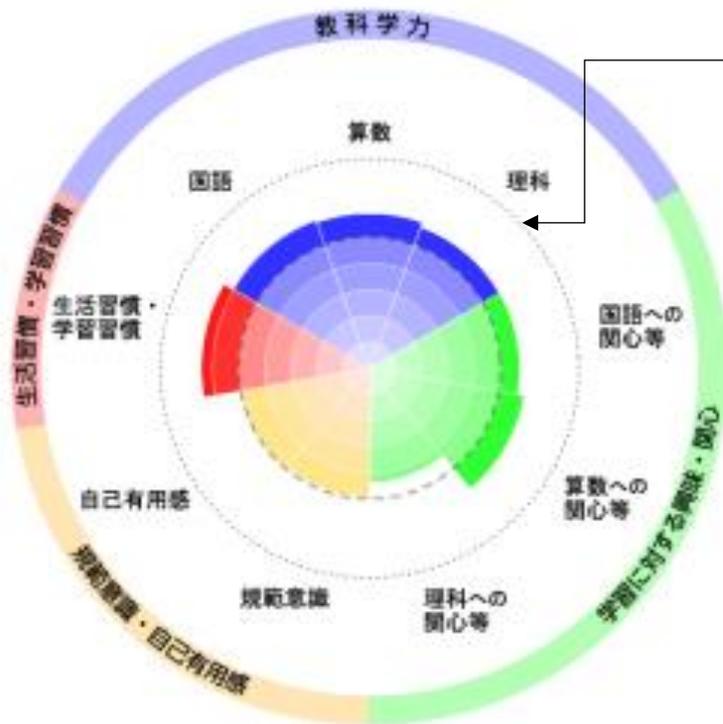
	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
横浜市立本郷台小学校	79	11.4 / 17	67	12.0	3.6
神奈川県 (公立)	69,996	10.8 / 17	63	11.0	3.8
全国 (公立)	965,761	10.8 / 17	63.3	11.0	3.8

「エネルギー」を柱とする領域と「地球」を柱とする領域で、平均を上回りました。自分で考えた実験の方法や実験の過程などを基に、実験の方法や手順を確認したり、改善したりすることや、実験や観察で得た結果を分析し、自分の考えをもつことができています。一方で、器具の名称を理解することや考察から得られたことを知識として理解することにおいて、正答率が低い傾向にあります。実験の目的や、実験にふさわしい器具を確認しながら、授業展開を図りたいと思います。

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



2 学習意欲、生活習慣等と学力との分析チャートについて



※左のグラフの点線が全国の平均値です。点線よりも外側にあるものは、平均を上回るものとなります。

グラフから、本郷台小の児童の生活習慣・学習習慣、国語・算数の学習に対する関心が全国や県の平均を上回る結果となりました。全国と比べると、理科への関心、規範意識・自己有用感が下回っています。理科で学習した内容を生活につなげたり経験ができたりするよう、自信がもてるような声かけを進めていきたいと思っています。また、生活習慣では、携帯電話、スマートフォンやコンピューターの使い方についての約束を守れていないと答える児童も多くみられました。学校と家族双方で、指導していけるよう協力していきたいと思っています。